

科目名	国際社会と人権 I				
英語科目		ナンバリング	RRi1205		
開講期	春学期	開講学部等	国際関係学部	配当年次	2年次
教員名	丸山 珠里			単位数	2単位

### 授業概要／Course outline

人権は、18世紀の欧州で誕生し、国際法上他国が干渉できない国家の国内管轄事項として憲法などの国内法により保障されてきたが、著しい人権侵害が行われた第2次世界大戦をきっかけにして、他国や国連などの国際機構が関与できる国際関心事項となった。今日の国際社会では、人権は、国際人権規約などの多数の人権条約を中心に構成される国際法により、国連などの国際機構を通じて、国際的に保障されている。このような人権の国際的保障を、国際人権法を中心に、その仕組みと実態、問題点、今後の課題について、具体的な事例を挙げながら、説明する。

### 授業形態、授業方法等／Course form・type

#### 【授業形態】

対面授業

#### 【授業方法】

講義

### 授業内容・授業計画／Course description・plan

- 第1回 はじめに（イントロダクション）－持続可能な開発目標（SDGs）、SDGsと人権
- 第2回 国際人権の意味と意義－伝統的国際法と人権、国際連盟および国際労働機関（ILO）と人権
- 第3回 国際人権の意味と意義－国連と人権
- 第4回 国際人権の意味と意義－その他の国際的人権機構、日本と国際人権
- 第5回 人権保護促進のための国際的取組み－国際連合による人権の保護・促進。「教員－学生間対話シート」の実施
- 第6回 人権保護促進のための国際的取組み－人権NGOの働き、国内人権機関、SDGsとの関係
- 第7回 国際人権章典－国際人権章典の制定作業、国際人権章典の規定する人権
- 第8回 国際人権章典－国際人権規約の実施措置、世界人権宣言・国際人権規約とSDGs、国際人権規約と日本
- 第9回 人身の自由と拷問等の禁止－生命に対する権利および死刑、拷問または残虐な刑の禁止
- 第10回 人身の自由と拷問等の禁止－奴隷の禁止および強制労働の禁止
- 第11回 人種差別の禁止と少数者・先住民族の権利－人種差別の禁止、少数者（マイノリティ）の権利
- 第12回 人種差別の禁止と少数者・先住民族の権利－先住民族の権利、日本における問題、SDGsとの関連
- 第13回 ジェンダー平等と女性の権利－ジェンダー平等に向けた国際社会の動き、国際人権と女性
- 第14回 ジェンダー平等と女性の権利－国際的な取組みの日本社会への影響
- 第15回 まとめ。「学習実感調査」の実施

### 準備学習等（事前・事後学習）／Preparation and assignments

事前に、教科書の該当部分やmoodleにアップするレジュメに目を通しておくこと。事後に、レジュメやノートや教科書の該当部分を確認したり自主的に調べたり受講者間で議論したり担当者に質問したりしてきちんと理解しておくこと。各回の教科書の該当部分は以下のとおりである。

- 第1回 『新国際人権入門』 1～6ページ（レジュメあり）
- 第2回 『新国際人権入門』 8～13ページ（レジュメあり）
- 第3回 『新国際人権入門』 13～18ページ（レジュメあり）
- 第4回 『新国際人権入門』 18～25ページ（レジュメあり）
- 第5回 『新国際人権入門』 26～33ページ（レジュメあり）
- 第6回 『新国際人権入門』 33～39ページ（レジュメあり）
- 第7回 『新国際人権入門』 40～48ページ（レジュメあり）
- 第8回 『新国際人権入門』 48～60ページ（レジュメあり）
- 第9回 『新国際人権入門』 62～70ページ（レジュメあり）
- 第10回 『新国際人権入門』 70～79ページ（レジュメあり）
- 第11回 『新国際人権入門』 80～91ページ（レジュメあり）
- 第12回 『新国際人権入門』 92～102ページ（レジュメあり）
- 第13回 『新国際人権入門』 103～113ページ（レジュメあり）
- 第14回 『新国際人権入門』 113～121ページ（レジュメあり）
- 第15回 『新国際人権入門』 上記ページすべて

事前学習・事後学習は、各授業、それぞれ2時間程度が必要である。上記内容を確認して、しっかりと事前・事後

学習を行うこと。
<b>授業の到達目標/Expected outcome</b>
国際人権の詳しい知識を修得できる。それにより、国際社会の中で主体的に倫理観を持って行動できる。
<b>身につく資質・能力/Competencies to be attained</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体性</li> <li>・倫理性</li> </ul> <div style="margin-left: 200px;"> <p>専門知識・専門技能</p> <p>【国際関係学部 国際関係学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際関係の政治領域に関する知識</li> <li>・学際的な分析力</li> </ul> </div>
<b>履修上の注意/Special notes, cautions</b>
(1) 教科書の要点を整理し教科書に書かれていない新しい問題なども取り上げるために、毎回の授業の3日前にmoodleにアップするレジュメを使用して説明するが、教科書とレジュメを読むだけでは十分な理解は得られないので、授業に必ず出席すること。(2) 「国際社会と人権 I・II」の両方を履修することが望ましい。(3) 国際法や国際機構と密接な関係にあるので、「国際法 I・II」、「国際機構論 I・II」を履修することが望ましい。
<b>評価方法/Evaluation</b>
中間レポート50%、期末レポート50%。不定期に、出席者に授業内容の確認を行い、加点材料として考慮する。  * 授業内で課した小レポートや課題は、授業時に随時フィードバックする。
<b>教材/Text and materials</b>
教科書：横田洋三編『新国際人権入門』（法律文化社、2021年） レジュメ
<b>質問や相談の方法/Instructor contact</b>
連絡先：moodleに記載するメールアドレス
<b>その他/Others</b>
オフィスアワーは、ガイダンス配布資料などで確認すること。